

社会課題の解決に参加しよう。

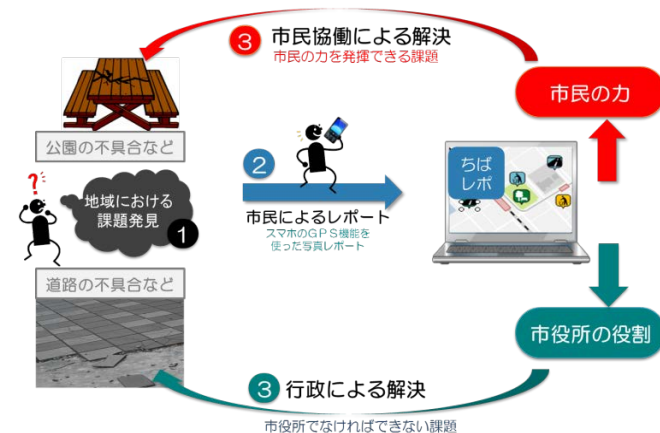
問題意識を共有し、

財政難の中、**行政が何でもやる時代は終わり**、市民のパワーをいかに活かすかが重要。そのために、**行政は課題を含む情報をオープンにし、市民に働きかけ、市民も要望を出すだけでなく、動ける人は困っている人を助ける、そのような社会を目指すことが重要。**(⑤三木G)

雨が降っているなど、レポートしたいという本質的な欲求を人は持っていると思う。ITはそれを気軽にできるようにした。**イギリスの例では、公園のベンチを直してくださいというレポートの後、さらに「いいね！」のように投票し、優先順位がつけられ、その順に公共事業をする。**(⑤大木)

東日本大震災という未曾有の事態の中で行政の限界が現られ、**一人一人の個人が自分自身は何のために生きるのかと考え、潜在的な意識の変化が進行した。**新しい価値観が体现される社会の実現に向けて、大きな動きが進みつつある。(⑦宮城S)

東山動物園ではコアラのエサ代が年間5700万円かかっていたが、クラウドファンディングで支援者を募ったら、一日で目標額が集まった。**ベネフィットが可視化できれば、それに共感する人たちが新しいコミュニティを作って、ITを通じてお互いに支え合うことも可能。**(①米良)



「ちばレポ」の仕組み～課題の共有・参加～
(出典：第5回懇談会 千葉市資料)



(出典：READYFOR? HP)